

「古文書に親しむ講座」



中央図書館では4月10日（日）から6月19日（日）までの全10回、古文書に親しむ講座（初・中級）を開催いたしました。

講師にはおなじみの大須賀哲夫先生をお迎えし、真剣に古文書に取り組みました。受講者は延べ265人にのぼり、市内の方が中心ですが、中には東栄町から来ている方もみえました。

テキストには先生所蔵、草間文庫所蔵の古文書を用い、一部他の古文書も用いました。テキストの中身を申しますと、道中奉行達書、年賀挨拶状、田畑売渡証文、上納米札、口上之覚、阿蘭陀人覚、御目見被仰付伺、評定所之定、狐付火を燈す事、東都地震記等です。

